

Bouquet of Music



〈春〉
2023 5.28〔日〕

15:00開演(14:00開場)

指揮：鈴木秀美 ピアノ：小林海都
ナビゲーター：假屋崎省吾

チャイコフスキー
ピアノ協奏曲第1番変ロ短調作品23
ベートーヴェン
交響曲第6番ヘ長調作品68「田園」



〈秋〉
2023 11.11〔土〕

15:00開演(14:00開場)

指揮：大井駿 ヴァイオリン：三浦文彰

チャイコフスキー
ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品35
ベルリオーズ
幻想交響曲作品14



〈冬〉
2024 2.3〔土〕

15:00開演(14:00開場)

指揮：広上淳一 チェロ：鳥羽咲音

シューベルト
「ロザムンデ」作品26 序曲
チャイコフスキー
ロココの主題による変奏曲イ長調作品33
シューマン
交響曲第3番変ホ長調作品97「ライン」

五楽章の交響曲と
チャイコフスキー協奏シリーズ

「名曲」―それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。
名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。
2023年度は注目の指揮者、ソリストと共に
5つの楽章からなる個性的な交響曲と
チャイコフスキーの3大協奏作品をおおくりします。

広響名曲コンサート
音楽の花束
〈春―秋―冬〉

〔会場〕 広島国際会議場フェニックスホール

広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)

料金(1回分) **¥4,300**(ペア**¥6,500**) **¥3,300** **¥2,300**(学生**¥1,500**)

※税込・全席指定 ※学生は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取り扱い)

あなただけのマイシート

コンサート会員のご案内

名曲コンサートへは、1回券より断然お得な会員がおすすめです！
シリーズ全3公演を同じお席でご鑑賞いただけます。

¥9,100 **¥7,000**

お申し込みは広響事務局までお電話ください。

受付
5/26
まで

◎チケット発売日 〔春〕― 2023年3月1日(水)

〔秋〕― 2023年5月29日(月)

〔冬〕― 2023年11月13日(月)

◎チケット取扱い

JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局

チケットぴあ(Pコード：春233-694、秋233-695、冬233-696)

ローソンチケット(Lコード：春62578、秋62579、冬62585)

※Pコード、Lコードは公演により異なりますのでご注意ください。

※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更場合がございます。公演の最新情報は広響ホームページにてご確認ください。

主催：広島市・公益財団法人広島市文化財団・公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社

春公演特別協賛：中国電力

協賛：株式会社花満・広島県医師会・広島市医師会

お問い合わせ

広響事務局

Tel.082-532-3080[受付時間/平日 9:00~17:20]

http://hirokyo.or.jp

広響公式ホームページ▶



広 響 名 曲 コ ン サ ー ト

音楽の花束 〈春－秋－冬〉

〈春〉指揮：鈴木秀美 Hidemi Suzuki, Conductor

神戸生まれ。16年間オランダ・ベルギーに住み、ヨーロッパ各地で演奏・指導する他、ブリュッセル王立音楽院バロック・チェロ科に初代教授として招聘され2000年に帰国するまで務めた。ソリストとして、また18世紀オーケストラ、ラ・プティット・バンドのメンバー及び首席奏者として演奏し、バッハ・コレギウム・ジャパンでは創立から2014年まで首席奏者を務め、バッハの全宗教作品の通奏低音を演奏・録音した。2001年に古典派を専門とするオーケストラ・リベラ・クラシカ(OLC)を創設してハイドンを中心に活動。自身のレーベル《アルテ・デラルコ》からOLC、室内楽、ソロ等の録音を多数リリース。指揮者として日本各地の交響楽団に客演するほか、海外にも招かれる。神戸市室内管弦楽団音楽監督、山形交響楽団首席客演指揮者。東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師。日本バートーヴェンクライス副代表理事。著書に『古楽器』よ、さらば!』『ガット・カフェ』『無伴奏チェロ組曲』『通奏低音弾きの言葉では、』。第37回サントリー音楽賞、2011年度斎藤秀雄メモリアル基金賞、文化庁芸術作品賞ほかを受賞。

〈秋〉指揮：大井駿 Shun Oi, Conductor

1993年、東京都出身。幼少期を鳥取市で過ごす。2022年、広島にておこなわれた第1回次世代指揮者コンクールにて優勝、ならびに細川賞を受賞。ザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科を卒業し、ヤマハ音楽奨学支援制度創設以来初となる指揮専攻奨学生として、同大学指揮科修士課程を修了。指揮をブルーノ・ヴァイル、ヨハネス・カリツケ、イオン・マリンの各氏に師事。これまでに指揮者として、読売日本交響楽団、広島交響楽団、広島ウインドオーケストラ、モーツァルテウム管弦楽団、マイニングン宮廷楽団などのオーケストラと共演。ピアニスト、古楽器奏者や通奏低音奏者としても活動しており、パリ地方音楽院ピアノ科、ミュンヘン国立音楽演劇大学古楽科、ザルツブルク・モーツァルテウム大学ピアノ科を卒業。ピアノを迫昭嘉、ジャック・ルヴィエ、アンドレアス・グロートホイゼン、古楽をラインハルト・ゲーベル、クライヴ・ブラウン、チェンパロとフォルテピアノをクリスティーネ・ショルンスハイムの各氏に師事。2020年には迎賓館赤坂離宮にて、皇室所蔵の1906年製エテールを用いたリサイタルをおこなう。

〈冬〉指揮：広上淳一 Junichi Hirokami, Conductor

東京生まれ。尾高淳忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロバス響のポストを歴任。フランス国立管、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへ客演を重ねる。オペラ分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。2008年より京都市交響楽団常任指揮者、14年よりミュージック・アドヴァイザーも兼務。15年には同団と共にサントリー音楽賞を受賞。20年より常任指揮者兼芸術顧問、14年間にわたり京都市交響楽団と共に歴史を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一、京都コンサートホール館長。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

ピアノ：小林海都 Kaito Kobayashi, Piano

2021年9月にイギリスで行われたリーズ国際ピアノコンクールにて46年ぶりの日本人歴代最高位の第2位及びバルタ・メニュイン賞(最優秀室内楽演奏賞)を受賞。その他ドイツのエトリンゲン国際青少年ピアノコンクールのカテゴリB(20歳以下の部)にて歴代最年少優勝及びハイドン賞、ポルトガルのサンタ・チェチーリア国際ピアノコンクールにて第3位、東京音楽コンクール第2位、松方ホール音楽賞などの受賞歴を持つ。高校卒業後に渡欧。ベルギーのエリザベート王妃音楽院にてピリス氏に師事。NHK交響楽団をはじめ国内のオーケストラ、さらには海外でもベルギー国立管弦楽団、バーゼル交響楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団など多数のオーケストラと共演。中学生よりヤマハマスタークラス特別コースに在籍し、上野学園高等学校音楽科演奏家コースを特待生として卒業。現在バーゼル音楽院にてクラウディオ・マルティネス＝メーナーのもと研鑽を積む。これまでにピアノをマリア・ジョアン・ピリス、湯口美和、故ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、横山幸雄、田部京子の各氏に師事。2014年・2015年ロームミュージックファンデーション奨学生。江副記念リクルート財団第45・48回生。

華道家：假屋崎 省吾 Shogo Kariyazaki

元祖華道家。東京・銀座、假屋崎省吾 花教室 主宰。美輪明宏氏より「美をつむぎだす手を持つ人」と評され、世界各地で「華道」を広める活動に精励する。クリントン大統領来日の会場装飾プロデュース、天皇御在位10年記念式典の花装飾、明仁天皇御退位・徳仁天皇御即位の特別番組スタジオ装飾、G20軽井沢・歓迎モニュメント制作などを担当。女子美術大学・客員教授、フランス観光親善大使、オランダチューリップ大使などを務め、着物、ジュエリー、ガラス器、棺、骨壺などのデザイン・プロデュースをおこない、デザイナーとしての才能を発揮。ライフワークでもある花と建物のコラボレートとなる個展「歴史的建築物に挑む」を国内外で開催。日本はもとより海外でも目覚ましい活動を展開している。その他、花を通じた情操教育「花育活動」や「少子化問題」「伝統工芸品の振興促進」などの地域活性を促す社会ボランティア活動も積極的に取り組み、2023年、華道歴40周年を迎え、テレビ・ラジオ・雑誌・新聞・WEBなど幅広い分野で、益々活躍の場を広げている。

ヴァイオリン：三浦文彰 Fumiaki Miura, Violin

世界最難関と言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。ロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、マリンスキー劇場管、ベルリン・ドイツ響、エーテボリ響などと共演。共演した指揮者にドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマンなどが挙げられる。NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことや、TBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。18年からサントリーホールARKクラシックスのアーティストティック・リーダーを務める。21/22シーズンには、ロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスに就任。22年にはバルセロナ響、ウィーン室内管と共演し、ピリスとのデュオリサイタルを行う。23年は、ウィーン室内管との弾き振りや、ウィーン、パリにおいてリサイタルを行う。CDはエイベックスよりリリース。使用ヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作 "Viotti"。

チェロ：鳥羽咲音 Sakura Toba, Violoncello

2005年、音楽家の両親のもと、ウィーンで生まれる。現在18歳。2018年、モスクワ若い音楽家のためのコンクール「くるみ割り人形」弦楽器部門で銅賞を受賞するなど、数多くのコンクールで入賞、優勝。2019年3月に初のソロ・リサイタルを開催し、10月には沼尻竜典指揮/日本フィルとの共演でチャイコフスキー「ロココの主題による変奏曲」をサントリーホールで演奏。以後、山田和樹指揮/横浜シフォニエッタ、原田幸一郎指揮/富士山静岡響、大友直人指揮/群馬響などと共演し、また東京・春・音楽祭をはじめ様々な場でのリサイタルなど、幅広く活躍している。2019年には世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を受賞した。使用楽器はアンネ＝ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム、6歳から毛利伯郎氏に師事。アントニオ・メネセスやダーヴィド・ゲリンガス、イェンス＝ペーター・マインツの各氏のマスタークラスにも参加した。公益財団法人江副記念リクルート財団第50回(2021年)奨学生および、公益財団法人ロームミュージックファンデーション2021、2022年度奨学生。2022年10月よりベルリン芸術大学にてマインツ氏に師事。

■会場アクセス 演奏会へはできるだけ公共の交通機関でお越しください。

JR広島駅から……

【路線バス】 所要時間:約20分

南口バスのりばA-3 ホームより、広島バス 24号線吉島営業所または吉島病院行「平和記念公園」下車すぐ

【市内電車】 所要時間:約25分

広島港①行「袋町」下車、徒歩約10分／西広島②、江波⑥、宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分

【タクシー】 所要時間:約15分

